



アスリートの
活躍を
応援する。
『ニッポンの食』で

JA全農は、子どもたちが
未来で羽ばたくフィールドから
世界の頂点である大舞台まで、
アスリートたちの活躍を
「ニッポンの食」を通じて
サポートします。

全農 ZEN-NOH



第20回 日本シニア カーリング選手権大会

2022.11.24 THU ▶ 11.27 SUN

みちぎんドリームスタジアム
(青森市スポーツ会館)

青森市合浦1-13-1 TEL.017-765-6200 FAX.017-765-6202



主 催 公益社団法人 日本カーリング協会

主 管 公益社団法人日本カーリング協会競技委員会
第20回日本シニアカーリング選手権大会実行委員会

後 援 (公財)青森県スポーツ協会、青森市、(一財)青森市スポーツ協会、
東奥日報社、NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送

協 賛 ミズノ株式会社、トップスター・ジャパン株式会社

協 力 スポーツネット青森、東北ブロックカーリング協議会、青森県カーリング協会



ごあいさつ



公益社団法人日本カーリング協会
会長

貝森 輝幸

全国の予選を勝ち抜き「第20回日本シニアカーリング選手権大会」に出場される選手の皆様、誠におめでとうございます。心より賛辞をお送りするとともに、日頃の練習の成果を存分に発揮され、悔いなき大会となりますことを念じ上げております。

2月に北京で開催された冬季オリンピックでは、女子カーリングが銀メダルを獲得し、カーリングファンだけでなく多くの日本人々がその活躍に沸き立ちました。また、5月にスウェーデンで開催された世界ジュニアカーリング選手権では、ジュニア女子チームが初めての金メダルを獲得しました。日本のカーリングの躍進を伝えるニュースが続く中、本大会に参加される選手の皆さんもこれに絶えず練習に励み、本大会に臨まれたことと思います。皆さんの活躍がわが国におけるカーリングの発展とカーリング文化の普及に寄与することを願って止みません。

「うごかす、とめる。」で暮らしを支える、ナブテスコ。

ナブテスコは、さまざまな分野で、暮らしに役立つ製品をつくっている会社です。

たとえば、飛行機のフライトコントロールにも、
産業用ロボットの関節や、タンカーのエンジンにも、
電車のブレーキやドア、パワーショベルの走行ユニットにも、
いろんなところで、ナブテスコの技術は生きています。

幅広い分野において、独創的な「うごかす、とめる。」技術で、
みんなの安心・安全、そして快適な暮らしを支えています。



皆様もご存知の通り、依然として国内外では新型コロナウィルス感染症の感染の拡大が続き、社会経済に大きな影響を及ぼしています。本大会は国内での感染が目に見えて増加し始めた2020年以降、開催予定時期が感染者の急増時期に重なり、残念ながら3回にわたり中止を余儀なくされました。一方でその後の競技大会では当会の定める感染拡大防止ガイドラインに沿った競技運営を重ね、参加者の安全を確保したうえで大会を開催する知見と経験を積み上げてまいりました。本大会ではその成果を生かし、皆様の健康上の安全に配慮した大会を準備しております。国内外に困難な状況が続く中で競技大会を開催する機会を頂けたことに感謝し、選手の皆さん方が満足とプレーする様子が多くの人々に励ましと勇気を与えることを期待しております。

本大会の優勝チームは4月に韓国の江陵で開催される世界シニアカーリング選手権大会へ、日本代表として派遣されることが決定しております。出場チームにとっては大きな経験となるとともに、その実力をいかんなく発揮し、世界各国のカーラーとの交流を介してカーリング文化の醸成に貢献されることを確信しております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご協力を頂きます青森県および青森市、みちぎんドリームスタジアム、大会運営にご尽力頂きます青森県カーリング協会、ならびに関係者各位に深く感謝申し上げ、ご挨拶の言葉とさせて頂きます。



第20回日本シニアカーリング選手権大会 開催要項

主 催 公益社団法人 日本カーリング協会

主 管 公益社団法人日本カーリング協会競技委員会、第20回日本シニアカーリング選手権大会実行委員会

後 援 (公財)青森県スポーツ協会、青森市、(一財)青森市スポーツ協会
東奥日報社、NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送

協 賛 ミズノ株式会社、トップスター・ジャパン株式会社

協 力 スポーツネット青森、東北ブロックカーリング協議会、青森県カーリング協会

日 程 令和4年11月24日(木)～11月27日(日)

24日:公式練習・競技(予選リーグ)

25日、26日:競技(予選リーグ)

27日:競技(決勝トーナメント)・閉会式

※チームミーティングについては、11月23日(水・祝)18時よりオンラインにて開催予定である。

会 場 みちぎんドリームスタジアム(青森市スポーツ会館) カーリングホール
青森市合浦1-13-1 TEL 017-765-6200 FAX 017-765-6202

参加チーム 男子：北海道4、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計10チーム
女子：北海道2、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計 8チーム
※基本出場枠を記載している。

参加資格 本年度の(公社)日本カーリング協会登録競技者で、2022年6月30日現在の年齢が50歳以上のカーラーによって編成され、本協会加盟の都道府県ブロックにて選抜若しくは推薦されたチームであること。

参 加 料 1チーム 50,000円
令和4年10月31日(月)までに参加料を下記口座に振り込むこと。
参加料振込先 銀行名:みずほ銀行 渋谷支店 口座番号:普通口座 №2866556
口座名:(公社)日本カーリング協会 会長 貝森 輝幸

参加申込 令和4年10月31日(月)までに別紙大会参加申込書及び関係書類を日本カーリング協会事務局が管理するオンラインストレージに送信すること。提出先URLおよび提出手順は別紙申込書類の提出方法を参照のこと。
※要チーム写真添付(ユニフォームを着用した選手が横並び正面に向いて整列したもの)

競技規則 公益社団法人 日本カーリング協会規則(2021.11版)を適用する。
参照先⇒<http://www.curling.or.jp/committee/competition/competition-top.html>
また本大会で使用できるブラシは、2022年5月3日付け「Current Approved Product Codes」によるものとする。
※参照先 <https://worldcurling.org/competitions/brushes/>
詳細通知は審判長事前通知にて行う。

競技方法 男子は5チーム×2ブロック、女子は4チーム×2ブロックで行う。
試合は、予選リーグ、決勝トーナメントとも8エンドで実施する。
試合は30分のシンキングタイムで行う。
対戦組み合わせは、JCA競技委員会で事前に行う。

ユニフォーム 及びチーム名 日本カーリング協会競技規則「C3.ユニフォーム・用具及びJCAドレスコード」、「JCA競技者ユニフォーム規定(2021年11月改定版Ver.1～JCA競技委員会～)」に基づくユニフォームを着用すること。
※日本代表ユニフォームの使用は認めないものとする。
※参照先⇒<http://www.curling.or.jp/committee/competition/competition-top.html>

表 彰 優勝、2位、3位チームにメダル・表彰状を授与する。
優勝チームには世界シニアカーリング選手権(2023年4月22日～29日、開催地韓国、江陵)への出場権を与える。ただし、優勝チームが単独で参加できない場合は、2位、3位の順にその権利を与える。

静止画及び動画撮影に関する同意

本大会期間中に(公社)日本カーリング協会(以下、JCAという。)が、又はJCAの依頼した者が、静止画及び動画を撮影する。撮影された画像(静止画・動画)の使用権については、JCAが行う大会等の告知と広報活動及びそれに準ずる機会、映像製作及び放映機会、協賛社の広報・宣伝等を含むJCAの認めた活動の使用に限りJCAが有することに同意し、肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾した上で参加申し込みをすること。

ソーシャルメディアの利用の注意

ソーシャルメディア上での一般的な会話は許容されるが、人種、信条、障害、性的指向に関する投稿ならびにJCAや大会役員・選手・コーチに対する不適切な投稿は、何らかの罰則の対象となる場合がある。全ての選手とコーチは第三者がそれを利用するしないに関わらず投稿内容に責任を負う。不適切な投稿のコピー投稿およびリツイートも同様の処分対象となる場合があることに注意されたい。

競技エリア内に掲示する横断幕について

競技場内に掲示できる横断幕は各チーム1枚、サイズは16,200 cm²以下(90 cm×180 cm相当)とする。横断幕にはチーム名として使用を許可されたものを除き、企業名やロゴ等の広告とみなされるものを表示することはできない。

アンチ・ドーピング

本大会に参加する選手(コーチ、関係者含む)は JADA の作成した e-learning システムの受講が必須となる。大会前に受講し修了証を JCA に提出すること。詳細は添付の「アンチ・ドーピングのお知らせ」を参照すること。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響による事前通知

本大会は、JCAが定める大会開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う開催地自治体の各種指針に従つて開催する。

大会の参加にあたっては、当該指針等を熟読の上、当該指針を遵守すると共に、特に本大会の開催の有無をはじめ次の事項を承諾の上出場すること。また、今後、本対策に伴う資料の提出や、大会当日における対策には全面的に協力する事を前提に参加申し込みを行い、これに応じない場合又は、意図的に隠ぺいまたは虚偽の報告を行つて参加した場合は、当該チームに対する出場の取消及び輩出ブロックに対する罰則を課す場合があるので、その旨留意されたい。

- ①本大会は原則無観客で開催を行う予定である(全ての観覧席での観戦はできない)。
- ②コーチに加え、チーム関係者(トレーナー・選手関係者など)として2名までの登録を認める。チーム関係者はその当該チームの対戦を2階北側観覧席で選手のプレーの確認や健康状況を確認できるものとする。無観客での開催の場合、登録された選手・コーチ・チーム関係者(以下、参加者という)及び大会関係者以外は会場への入場を認めないため、必要に応じて登録すること。
- ③参加者は、大会初日の2週間前からの健康状態等を記録し、所定の方法で大会受付時に漏れなく提出すること。詳細は添付「健康行動記録のお知らせ」を参照すること。
- ④参加者及び大会関係者に対し、大会開始前にPCR検査を実施する。また、参加者には大会期間中に抗原定性検査を実施する。抗原定性検査に使用する検査キットについては、JCA事務局が手配する。PCR検査費用はチーム負担とし、抗原定性検査費用については大会負担とする。詳細は添付「PCR検査のお知らせ」を参照すること。
- ⑤大会直前及び大会期間中に新型コロナウイルスへの感染及び感染が疑われる症状が生じた場合には、添付「大会直前及び大会期間中の感染症対策について」に記載の対応手順に従うこと。
- ⑥十分な感染症対策を行つても、大会中に新型コロナウイルスに感染する可能性があることを理解し、参加すること。大会期間中に参加者又は大会関係者から感染者が多数発生した場合、または日本国内及び開催地等の感染状況により、大会開催直前若しくは大会開催期間中において、本大会が中止等の措置が取られる場合がある。
- ⑦新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者等)を持っている者が参加する場合は、そのリスクを十分考慮し、参加すること。
- ⑧大会が中止等の措置となり、優勝チームが決定しなかった場合、「世界シニアカーリング選手権大会」への日本代表チームの派遣は行わない。
- ⑨WCFの判断により「世界シニアカーリング選手権大会」が中止となる場合がある。また日本国外務省が開催国に対して発表する感染症危険レベルによっては同大会への派遣を中止する可能性がある。

事務局 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア504
(公社)日本カーリング協会 事務局長 小高 正嗣
TEL 03-5843-0371 Fax 03-5843-0372 E-mail jscc2022@curling.or.jp

大会事務局 〒030-0812 青森県青森市堤町2丁目1番1号 株式会社 協同 内
第12回 全農 全日本大学対抗カーリング選手権大会事務局
青森県カーリング協会 事務局長 日下 稔
TEL 017-777-4191 FAX 017-773-2085 E-mail aomori.ca@gmail.com

《大会役員》

大 会 会 長 (公社)日本カーリング協会 会長 貝 森 輝 幸
 大 会 副 会 長 (公社)日本カーリング協会 副会長 酒 卷 智
 兼専務理事
 大 会 委 員 (公社)日本カーリング協会理事 小 笠 原 歩
 ジョンストンテリー
 土 屋 長 雄 石 田 順 一
 岡 崎 朋 美 大 澤 明 美 剛
 友 田

《大会実行委員会》

実 行 委 員 青森県カーリング協会会長 佐 藤 健 一
 副実行委員長 青森県カーリング協会副会長 對 馬 光 雄 船 木 一 人
 実 行 委 員 青森市地域スポーツ課課長 小 山 信 哉
 青森県カーリング協会理事 石 田 順 一 小 倉 清 人
 小 嶋 樹 里 行 守 稔
 加 藤 信 行 下 稔
 加 楠 美 昌 博 匠 聰
 鈴 鈴 美 昌 原 馬 聰
 當 麻 雅 行 相 中 幸 彦
 中 麻 雅 行 村 幸 満
 藤 當 麻 雅 行 鳴 海 满
 三 村 和 健 船 木 有 沙
 上 村 和 健 西 野 き よ
 上 健 実

監 事 青森県カーリング協会監事 石 田 完 ツ
 山 内 三

《大会運営スタッフ》

競 技 委 員 長 (公社)日本カーリング協会競技委員長 清 水 淳一郎
 副競技委員長 (公社)日本カーリング協会競技副委員長 橋 向 利 勝
 副競技委員長 (公社)日本カーリング協会競技副委員長 松之内 達 弘
 競 技 委 員 (公社)日本カーリング協会競技委員 菅 原 博 匠
 競 技 委 員 (公社)日本カーリング協会競技委員 廣 田 茂 樹
 競 技 委 員 (公社)日本カーリング協会競技委員 財 官 里 帆
 医科学委員長 (公社)日本カーリング協会医科学委員長 宿 岩 巧 雄
 医 科 学 委 員 (公社)日本カーリング協会医科学委員 佐 藤 博 子
 医 科 学 委 員 (公社)日本カーリング協会医科学委員 竹 川 寿 美 子
 審 判 長 (公社)日本カーリング協会A級公認審判員 相 馬 聰
 副 審 判 長 (公社)日本カーリング協会A級公認審判員 荻 原 久 美 子
 審 判 員 (公社)日本カーリング協会 公認審判員 中 島 潤
 チーフアイスマン みちぎんドリームスタジアム 小 高 正 翔
 アイスマン 青森県カーリング協会会員 高 田 修 作
 事 務 局 長 (公社)日本カーリング協会事務局 日 下 稔
 事 務 局 (公社)日本カーリング協会事務局
 大会事務局 青森県カーリング協会事務局長

第20回日本シニアカーリング選手権大会 タイムスケジュール

	時 間		Aシート	Bシート	Cシート	Dシート
11月 24日			各シート8分間+消毒2分×4			
	9:00~9:40	公式練習1	A1~A4(男子4チーム)			
	9:45~10:25	公式練習2	A5、B1~B2(男子3チーム)			
	10:30~11:10	公式練習3	B3~B5(男子3チーム)			
	11:10~11:50		アイスマスク			
	11:50~12:30	公式練習4	C1~C4(女子4チーム)			
	12:35~13:15	公式練習5	D1~D4(女子4チーム)			
	13:15~14:20		アイスマスク			
	14:20~14:50	R1	試合前練習			
	14:50~17:10		チーム岡本	軽井沢C.C. SENIOR	AOMORIシニア	名寄CA
		青森県協会	TEAM WATANABE	AOMORI		チーム北海道
		アイスマスク				
18:20~18:50	R2	試合前練習				
18:50~21:10		チーム愛知	青森CA	チーム岩手	青森県協会	
		広島CA	札幌協会	東京都協会		チーム北海道
9:00~9:30	R3	試合前練習				
9:30~11:50		札幌Sr	AOMORIシニア	TOKACHI	チーム岡本	
		チーム新潟	名寄CA	TEAM WATANABE	軽井沢C.C. SENIOR	
		アイスマスク				
13:00~13:30	R4	試合前練習				
13:30~15:50		東京都協会	チーム岩手	広島CA	チーム愛知	
		青森県協会	チーム北海道	青森CA		札幌協会
		アイスマスク				
17:00~17:30	R5	試合前練習				
17:30~19:50		青森県協会	TOKACHI	AOMORI	札幌Sr	
		軽井沢C.C. SENIOR	チーム岡本	名寄CA	AOMORIシニア	
9:00~9:30	R6	試合前練習				
9:30~11:50		チーム新潟	AOMORI	TEAM WATANABE	青森県協会	
		AOMORIシニア	札幌Sr	チーム岡本	TOKACHI	
		アイスマスク				
13:00~13:30	R7	試合前練習				
13:30~15:50		青森CA	札幌協会	青森県協会	チーム北海道	
		チーム愛知	広島CA	チーム岩手	東京都協会	
		アイスマスク				
17:00~17:30	R8	試合前練習				
17:30~19:50		軽井沢C.C. SENIOR	TEAM WATANABE	名寄CA	チーム新潟	
		TOKACHI	青森県協会	札幌Sr	AOMORI	
9:00~9:30	準決勝	試合前練習				
9:30~11:50		33男子準決勝1	37女子準決勝1	34男子準決勝2	38女子準決勝2	
		アイスマスク				
13:00~13:30	決勝戦	試合前練習				
13:30~15:50	3位決定戦	40女子3位決定戦	35男子決勝戦	39女子決勝戦	36男子3位決定戦	
16:20~		閉会式・表彰式				

①記載されている時間は「試合開始」時間です。②試合開始30分前から練習を9分ずつ行い、LSDを実施します。

③タイムスケジュール上段記載のチームが赤ストーンで先練習です。④C・Dブロックの第1試合はコインロトにより先練習、後練習を決めます。

対戦組合せ表

男子 Aブロック

No	チーム名	A1	A2	A3	A4	A5	勝	負	順位
A1	チーム岡本		1	2	4	7			
A2	軽井沢C.C. SENIOR			3	5	8			
A3	TEAM WATANABE				6	9			
A4	青森県協会					10			
A5	TOKACHI								

男子 Bブロック

No	チーム名	B1	B2	B3	B4	B5	勝	負	順位
B1	AOMORIシニア		11	12	14	17			
B2	名寄CA			13	15	18			
B3	チーム新潟				16	19			
B4	AOMORI					20			
B5	札幌Sr								

女子 Cブロック

No	チーム名	C1	C2	C3	C4	勝	負	順位
C1	チーム愛知		21	22	24			
C2	広島CA			23	25			
C3	青森CA				26			
C4	札幌協会							

女子 Dブロック

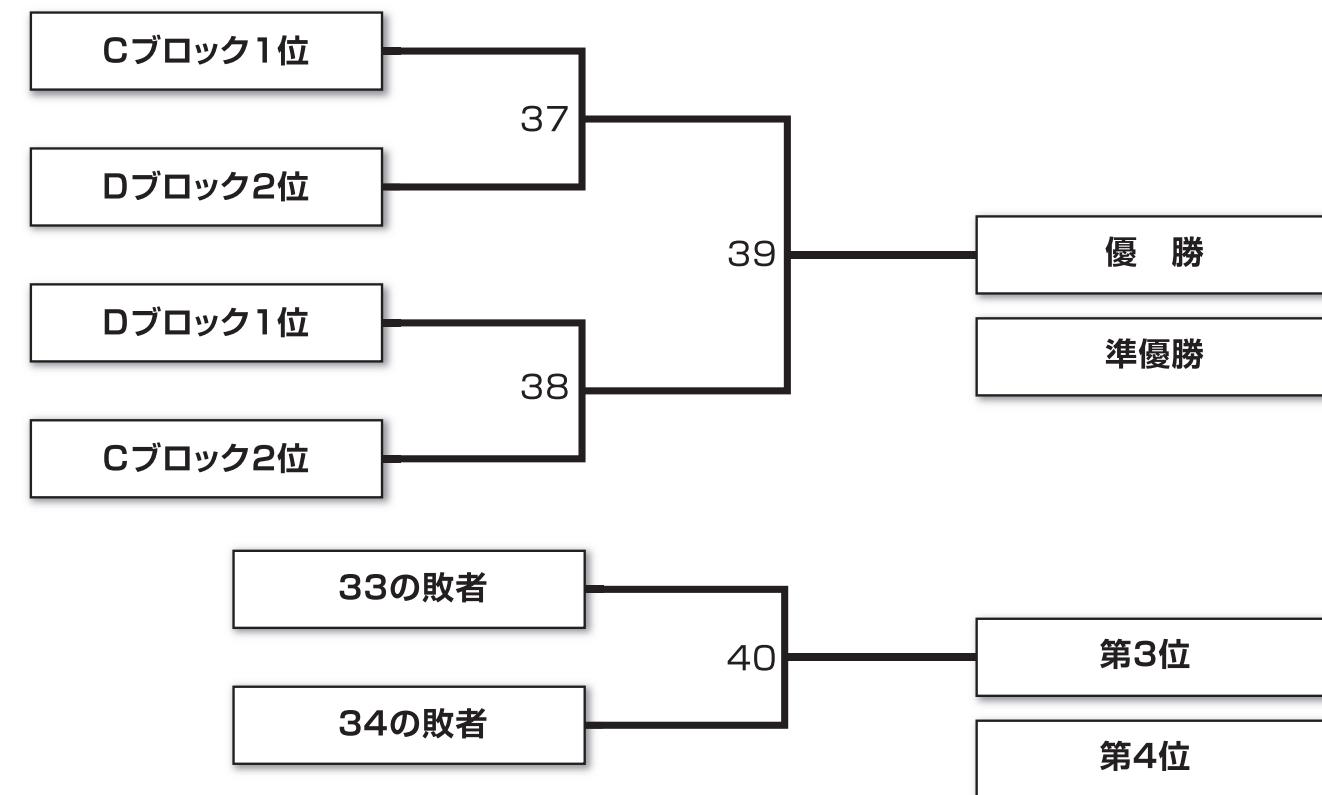
No	チーム名	D1	D2	D3	D4	勝	負	順位
D1	チーム岩手		27	28	30			
D2	東京都協会			29	31			
D3	青森県協会				32			
D4	チーム北海道							

決勝トーナメント組み合わせ

男 子



女 子



男子チームメンバー紹介

北海道ブロック

【フォース】伊藤 哲也
【サード】酒井 信太郎
【セカンド】竹野 弘明
【リード】北川 弘
【コーチ】伊藤 朋子
【コーチ】高橋 一登

北海道カーリング協会

札幌Sr



北海道ブロック

【フォース】小川 健二
【サード】開発 伸広
【セカンド】松田 慎司
【リード】石戸谷 洋朗

北海道カーリング協会

名寄CA



北海道ブロック

【フォース】佐藤 真康
【サード】高見 拓治
【セカンド】青木 美憲
【リード】橋本 孝広
【リザーブ】伊賀 淳貴

北海道カーリング協会

TOKACHI



東北ブロック

【フォース】加藤 信行
【サード】石田 順一
【セカンド】鈴木 昌憲
【リード】滝本 正喜
【リザーブ】角田 恵司

青森県カーリング協会

AOMORI



北海道ブロック

【フォース】渡邊 誉史雄
【サード】加藤 智
【セカンド】相馬 大介
【リード】鎌田 基義
【リザーブ】福田 徳春

北海道カーリング協会

TEAM WATANABE



東北ブロック

【フォース】船木 一人
【サード】日下 稔
【セカンド】中村 義人
【リード】蒔苗 新一
【リザーブ】中村 幸彦

青森県カーリング協会

青森県協会



男子チームメンバー紹介

関東中部ブロック

【フォース】松村 保
【サード】山本 聖二
【セカンド】富安 岳人
【リード】大塚 明
【コーチ】松村 なぎさ
【コーチ】持田 靖夫

長野県カーリング協会

軽井沢C.C. SENIOR



関東中部ブロック

【フォース】岩波 義幸
【サード】大橋 哲也
【セカンド】小池 純義
【リード】角 裕顕

新潟県カーリング協会

チーム新潟



西日本ブロック

【フォース】岡本 光明
【サード】寺尾 一朗
【セカンド】古志野 泰弘
【リード】大下 耕一郎
【リザーブ】河野 暢雄

広島県カーリング協会

チーム岡本



開催地枠

【フォース】白石 一志
【サード】堀江 重一
【セカンド】坂本 明裕
【リード】川嶋 尚孝
【リザーブ】寺田 忠厚

青森県カーリング協会

AOMORIシニア



女子チームメンバー紹介

北海道ブロック

【フォース】川村 みゆき
【サード】川平 操子
【セカンド】林 縁
【リード】北口 幸恵
【リザーブ】小林 陽子

北海道カーリング協会

チーム北海道



北海道ブロック

【フォース】高橋 幸恵
【サード】磯野 亜生子
【セカンド】若狭 香
【リード】酒井 弥生
【リザーブ】杉島 みちる

北海道カーリング協会

札幌協会



女子チームメンバー紹介

東北ブロック

【フォース】工藤 安祈子
【サード】船木 志津子
【セカンド】濱館 千鶴子
【リード】横内 艶子
【リザーブ】高田 瞳
【コーチ】船木 一人

青森県カーリング協会

青森CA



関東中部ブロック

【フォース】河原 明美
【サード】長瀬 多恵
【セカンド】森 真弓
【リード】宮原 麻衣子
【リザーブ】野村 薫子
【コーチ】三浦 曜子

愛知県カーリング協会

チーム愛知



東北ブロック

【フォース】木村 美喜子
【サード】山内 ミツ
【セカンド】中田 美保子
【リード】新毛 久美子
【リザーブ】荒木田 弥生

岩手県カーリング協会

チーム岩手



西日本ブロック

【フォース】原田 彩
【サード】石原 幸江
【セカンド】元谷 あけみ
【リード】財官 祥子
【リザーブ】辻田 聰美
【コーチ】岡本 光明

広島県カーリング協会

広島CA



関東中部ブロック

【フォース】谷本 文子
【サード】Terri Johnston
【セカンド】前田 淳子
【リード】久保 和子
【リザーブ】黒岩 朝子

東京都カーリング協会

東京都協会



開催地枠

【フォース】西野 きよ
【サード】福士 洋子
【セカンド】佐々木 和子
【リード】嶋貫 淳子
【リザーブ】三上 ゆかり

青森県カーリング協会

青森県協会



歴代優勝チーム

第19回 妹背牛 カーリングホール 2022	新型コロナウイルス感染症の状況悪化のため開催中止。
第18回 妹背牛 カーリングホール 2021	新型コロナウイルス感染症の状況悪化のため開催中止。
第17回 アドヴィクス常呂 カーリングスタジアム 2020	新型コロナウイルス感染症の状況悪化のため開催中止。
青森県青森市 みちぎんドリームスタジアム 2019年3月6日～3月10日	男子 チーム藤澤 藤澤充昌・鈴木岳・菊永重美・斎藤滋・畠岡直樹 女子 チーム北海道 川村みゆき・林縁・元木恵子・松井佳津子・小林陽子
北海道妹背牛町 妹背牛町カーリングホール 2018年2月14日～2月18日	男子 TOKACHI 佐藤真康・藤田俊一・橋本孝広・伊藤省三 女子 チームHokkaido 川村みゆき・林縁・元木恵子・松井佳津子・小林陽子
北海道名寄市 道立サンピラーパークカーリングホール 2017年2月16日～2月19日	男子 軽井沢 長岡秀秋・藤巻正・内田義一・清水淳一郎 女子 チームHokkaido 川村みゆき・林縁・松井佳津子・桑原隆子・小林陽子
北海道札幌市 どうぎんカーリングスタジアム 2016年3月3日～6日	男子 チーム神奈川 古茂田健司・佐藤英・生田久・小柳隆司 女子 チーム北海道 川村みゆき・林縁・松井佳津子・吉田富美江・金内紀子
青森県青森市 みちぎんドリームスタジアム 2015年3月5日～3月8日	男子 TOKACHI 佐藤真康・藤田俊一・橋本孝広・伊藤省三・塙田正志 女子 aomori 船木志津子・濱館千鶴子・松井佳津子・横内艶子・千葉治子
北海道名寄市 道立サンピラーパークカーリングホール 2014年2月13日～2月16日	男子 TOKACHI 佐藤真康・五嶋富恭・橋本孝広・伊藤省三・浦島久 女子 aomori 船木志津子・濱館千鶴子・元木恵子・横内艶子
北海道常呂町 常呂町カーリングホール 2013年2月28日～3月3日	男子 TOKACHI 佐藤真康・五嶋富恭・橋本孝広・伊藤省三・浦島久 女子 長野 土屋美喜子・佐藤成子・平間初恵・土屋真知子・松井佳津子
北海道妹背牛町 妹背牛町カーリングホール 2012年3月8日～3月11日	男子 チーム池田 松浦穂・齋藤良市・小林喜久男・沼田利幸・神谷敏治 女子 Team TOKYO 土屋美喜子・佐藤成子・大石洋子・平間初恵・金内紀子
青森県青森市 青森市カーリングホール 2011年2月25日～2月27日	男子 チーム岩手 浪岡正行・木村拓・鈴木彰・阿部義行・柴田理 女子 札幌チーム 五十嵐衿子・中山末子・桑原隆子・小岩えりこ
北海道常呂町 常呂町カーリングホール 2009年12月4日～12月6日	男子 TOKACHI 佐藤真康・五嶋富恭・橋本孝広・伊藤省三・塙田正志
北海道常呂町 妹背牛町カーリングホール 2008年12月5日～12月7日	男子 TOKACHI 佐藤真康・五嶋富恭・橋本孝広・伊藤省三・塙田正志 女子 Team TOKYO 田中秀子・川野なほみ・高橋和子・中村美枝子・雲野由美
長野県軽井沢町 風越公園スカップ軽井沢 2007年11月20日～12月2日	男子 みよたCMC 柏木昭憲・土屋和幸・森泉輝夫・土屋和明・木内亮一 女子 チーム札幌 五十嵐衿子・中山末子・寛とも・小岩えりこ
北海道名寄市 道立サンピラーパークカーリングホール 2006年12月15日～12月17日	男子 JA十勝池田町 松浦穂・朝川悟・石沢裕・鶴川栄一・久野正 女子 Team TOKYO 田中秀子・高橋和子・中村美枝子・雲野由美・川野なほみ
長野県軽井沢町 風越公園スカップ軽井沢 2005年12月16日～12月18日	男子 みよたCMC 柏木昭憲・木内亮一・森泉輝夫・土屋和明・土屋和幸 女子 チーム北海道女子 金内紀子・二本松礼子・大石洋子・佐藤富子・佐藤成子
長野県軽井沢町 御代田カーリングホール 2004年12月24日～12月26日	男子 チーム朝川 朝川悟・鶴川栄一・松浦穂・萬一幸・原勝雄 女子 チーム長岡 長岡はと美・佐藤成子・大石洋子・荻原久美子・砂連尾恵美子
北海道常呂町 常呂町カーリングホール 2003年12月5日～12月7日	男子 みよた 夏井坂泰基・藤村正貴・木村祥大・古澤龍二・吉田崇彦 女子 GOOD LUCK 吉村紗也香・井田莉菜・氏原梨沙・石垣真央・石山奈津子



勝利を超える価値がある

私たちには信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある
フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。
彼らの頑張りが、汗が、涙がスポーツの魅力となつて輝く。
勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。
彼らのさらなる飛躍を願い、
JALはスポーツの夢を応援します。



REACH BEYOND

ミズノは、(公財)全日本スキー連盟、(公財)日本スケート連盟ならびに
(公社)日本カーリング協会のオフィシャルサプライヤーです。

mizuno.jp 0120-320-799



明日の空へ、日本の翼

